

まほろば秦野通信

令和3年3月3日

タイトル	2050年までに二酸化炭素排出量をゼロへ 令和3年度施政方針で「ゼロカーボンシティ」への挑戦を表明
When (いつ)	2月26日(金曜日)
What (なにを)	総合計画をはじめとする各種計画が刷新されることを機に、自然に恵まれた本市だからこそ、“地球温暖化の問題を見つめ直すとき”という意志のもと二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」への挑戦を、令和3年第1回定例会施政方針にて表明しました。
How (どのように)	本市の普遍的財産である「水とみどり」を未来へ引き継ぐことができるよう足元からの取組みを念頭に、二酸化炭素の排出を抑制する「緩和策」と温暖化による気候変動の影響を回避する「適応策」に基づき、市民生活や事業活動、まちづくりなどの施策体系を想定するとともに、広域的な連携も見据えた取組みを進めていきます。
Why (なぜ)	パリ協定の発効など国際的動向を踏まえ、昨年10月26日に菅内閣総理大臣の所信表明において、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル(≒脱炭素社会の実現)を目指す表明がありました。なお、国(環境省)では、この表明に先立ち、同表明を首長自ら又は地方自治体として公表することの検討を都道府県及び市町村に対し要請しており、本市としても時宜を捉えた対応を検討しました。
今後の 取組み	既に表明を行っている自治体などとの連携に加え、広域的な視点による取組みを検討していくとともに、第3次秦野市環境基本計画(令和3年度施行)の着実な推進、並びに市民生活への浸透など総合的な検証のもと、早期の実現を目指していきます。 なお、具体的な温暖化対策については、関連計画などを一元化した(仮称)秦野市地球温暖化対策実行計画(令和4年度施行)を策定し、「緩和」と「適応」の両輪の取組みを強化、推進していきます。
問い合わせ	環境共生課 環境総務担当 担当：大嶋・藤原 電話：0463(82)9618